

ONYX™ USB INTERFACES

日本語オーナーズマニュアル



安全の為に

この製品を設置、使用される前に必ずお読みください。

お使いになる方や周囲の方々への危害、財産への損害を防ぐため、下記の内容を守ってこの製品を安全にお使いください。本書はいつでもご覧になれる場所に保存してください。

本書で使用する記号について

	「必ず守ってください」という強制を表しています。		「絶対にしないでください」という禁止を表しています。
---	--------------------------	---	----------------------------



警告

この記号は取り扱いを誤ると死亡や重傷、火災の原因になる可能性がある内容に付いています。



本書を全て読むこと

この製品を設置、使用する前に必ず本書を全てよく読み内容に従ってください。



水分をかけたり湿気にさらさないこと

この製品の上に花瓶や飲み物など、液体が入ったものを置かないでください。また、この製品を雨や霧にさらさないでください。感電や火災、故障の原因になります。



本体を落下しないこと

本体の故障はもちろん、周囲の方が負傷する原因になります。



異臭や異常を感じたら修理を依頼すること

正常に機能しない、接続ケーブルやプラグに異常がある等の場合は、修理をお申し付けください。



長時間にわたってヘッドフォンで大きな音量を聴かないこと

一時的または恒常的な難聴になる場合があります。



大音量で使用しないこと

この製品をアンプやスピーカーなど他の機器と組み合わせて、大音量を再生しないでください。一時的または恒常的な難聴や、スピーカーなど接続している機器が故障する原因になる場合があります。



移動するときはケーブルを全て抜くこと

接続ケーブルを接続したまま本体を移動しないでください。ケーブルを痛めたり、周囲の方が転倒する原因になります。



本体内部に液体や物をいれないこと

火災や本体故障の原因になる場合があります。この場合は修理をご依頼ください。



改造を行わないこと

決して製品内部を開いたり、ユニットパネルを動かしたり、その他マニュアルに記載されていない調整を行わないでください。これらの行為は感電やその他災害に繋がる可能性があります。また、あなたの製品にも損害を与える可能性があります。製品内部を開くと、保証対象外となりますのでご注意ください。



注意

この記号は取扱を誤ると負傷、機器の損傷や物的損害の原因になる可能性がある内容に付いています。



本体の上に乗ったり重いものを載せないこと

製品の故障の原因になります。



裸火を近づけたり熱源の近くに設置しないこと

この製品に直射日光を当てたり、ストーブなど熱源になるものの近くに置かないで下さい。本体が故障する原因になります。



ボタンやスイッチ、入出力端子に無理な力を加えないこと

本体の故障やお使いになる方が怪我をする原因になります。

修理

- ・日本仕様の Mackie 製品の修理は、音響特機株式会社または提携サービスセンターで行っています。Mackie 製品の修理やメンテナンスが必要な場合は、次の手順に従ってください。
- ・本書でご紹介しているトラブルシューティングの内容を確認してください。
- ・テクニカルサポートに電話、もしくは support_mackie@otk.co.jp にメールをし、「メンテナンス申込書」を請求してください。「メンテナンス申込書」に必要事項をご記入の上、04-2944-3812 へ FAX してください。折り返し RA 番号と送付先のサービスセンターが記載された修理受付表を FAX で返送致します。RA 番号はサービスセンターへ送付される前に必ず取得してください。
- ・オーナーズマニュアルとケーブル類は同梱しないでください。修理には必要ありません。
- ・本体を梱包材とともに製品パッケージに入れて、サービスセンターへ送付してください。当社では輸送上のダメージを保証することができません。
- ・必ず、RA 番号が記載された修理受付表のコピーを同梱してください。また送り状の通信欄にも、RA 番号と商品名、製造番号を記載してください。RA 番号のない修理品は受付することができません。

保証

- ・本機の保証はご購入後 1 年間となっております。
- ・正常な使用状態で本体に不具合が生じた場合、正規のサービス担当者が無償で修理を行います。ただし、下記の場合は保証規定から除外されておりますので、予めご了承ください。
- ・お客様による輸送、移動中の落下、衝撃など、お客様のお取り扱いが適正ではなかったために故障が生じた場合
- ・お客様のご使用上の誤り、不適正な改造、弊社の認可のない改造及び修理が行われている場合
- ・火災、煙害、ガス害、地震、落雷、風水害などの天変地異、あるいは異常電圧などの外部要因によって故障が生じた場合
- ・本機に接続している機器及び消耗品に起因する故障、損傷
- ・正常な状態での使用中でも、自然消耗、摩耗、劣化によって故障あるいは損傷が生じた場合
- ・日本国外でご使用中の故障、損害


すべてのサポート・修理に関する情報は下記 Mackie 日本語ホームページをご参照ください。


mackie-jp.com/support

サポートセンター

〒359-0023 埼玉県所沢市東所沢 2-37-1

塚腰運送敷地内

 04-2944-3811

 04-2944-3812


 support_mackie@otk.co.jp

営業日 月曜日～金曜日 9:00～17:30

休業日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏季


営業窓口


東京 東京都中央区日本橋小伝馬町 10-1

 03-3639-7800 (代表)


 03-3639-7801


大阪 大阪府大阪市淀川区宮原 2-14-4

 06-6152-7751


 06-6152-7752


名古屋 愛知県名古屋市中区泉 1-23-30

 052-950-3324


 052-950-3325


広島 広島県広島市中区富士見町 16-22-604

 082-258-2916


 082-2582917


福岡 福岡県福岡市南区大橋 4-16-18-201

 092-554-6066

 092-554-6064

仙台 宮城県名取市杜せきのした 2-2-16-101

 022-797-5281

 022-797-5282

営業日 月曜日～金曜日 9:00～17:30

休業日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏季

ご質問は電子メールでも承ります。

 sales_mackie@otk.co.jp

Contents

Onyx USB インターフェースの機能	4
はじめに	5
クイックスタート	5
Onyx Artist 1•2 接続図	6
Onyx Producer 2•2 接続図	7
フロントパネルの機能	8
1. XLR & 1/4 フォン入力端子	8
2. +48V ファンタム電源スイッチ	9
3. Hi-Z スイッチ	9
4. Gain ノブ	9
5. SIG/OL LED	9
6. Monitor ノブ	9
7. 1/4 インチフォン端子	10
8. Phones レベル	10
9. Direct Monitor スイッチ [Onyx Artist 1•2]	10
10. Mix ノブ [Onyx Producer 2•2]	10
11. USB LED	10
12. MIDI LED [Onyx Producer 2•2]	10
リアパネルの機能	11
11. USB 入力 / 出力端子	11
12. MIDI 入力 / 出力端子 [Onyx Producer 2•2]	11
13. 1/4 インチライン出力端子	11
14. Kensington Lock	12
付録 A : サービスについて	13
電源が入らない	13
音が出ない	13
音が良くない	13
ノイズ / ハム / バズ	13
付録 B : 技術情報	14
Onyx USB Interfaces 仕様書	14
Onyx Artist 1•2 寸法	15
Onyx Producer 2•2 寸法	15
Onyx Artist 1•2 ブロックダイアグラム	16
Onyx Producer 2•2 ブロックダイアグラム	16

Onyx USB インターフェースの機能

- 原音に忠実なサウンドとクラス最高峰のダイナミックレンジを実現する高品位 Mackie Onyx™ マイクプリアンプ
 - 様々な音源に対応可能な XLR/TRS コンボ入力を搭載。Hi-Z 入力にも対応しマイク/ライン入力だけでなくギターやベースなども直接接続が可能
- スタジオコンデンサーマイクに対応できる 48V ファンタム電源を搭載
- 24-Bit/192kHz 高解像度の 2IN2OUT
- ダイレクトモニタリング可能なレイテンシーのないアナログ入力端子
- スタジオモニターがダイレクトに接続可能な出力端子
- シンセサイザーやコントローラーなどを接続できる MIDI 端子 [Onyx Producer 2•2]
- USB バスパワー駆動のため、電源アダプターは不要
- USB2.0 に対応し、レイテンシーが少なく素早いデータ転送が可能
- 過酷な環境でも耐えうる "戦車級に頑丈な" デザイン
- Tracktion™ Music Production ソフトウェア + DAW Essentials Collection™ プラグインライセンス同梱
 - EQ、コンプレッサー、Reverber8、リミッター、オートフィルターなどを搭載した 16 種類のプラグインを使用可能
 - 様々な DAW と互換性のあるプラグイン (AAX/AU/VST/ LinuxVST)
- 主要な DAW ソフトウェアに対応 (Mac / Windows)
 - 0.5 kg [Onyx Artist 1•2]
 - 0.6 kg [Onyx Artist 2•2]



はじめに

Onyx Artist 1•2

高解像度 24-bit/192kHz コンバーターと Makie のプレミアムなアナログ回路を搭載し、「戦車級に頑丈な」ハードウェアデザインとバスパワー機能を兼ね揃えた Onyx™ Artist 1•2 は、シンガーソングライターやクリエイター、モバイルレコーディングにとって最高のソリューションとなります。

Artist 1•2 は Onyx マイクプリアンプと 48V ファンタムパワー、楽器などダイレクトに接続可能な Hi-Z 入力対応の 1/4 インチフォン入力端子を搭載し、簡単かつ素早いレコーディングを可能にします。加えて、レイテンシーのないダイレクトモニタリング出力端子により、自分のサウンドを常に確認することができます。

Onyx Artist 1•2 により自宅でも外出先でも、最大限のパフォーマンスを発揮することができます。あなたのクリエイティビティに限界はありません - Onyx USB オーディオインターフェース

Onyx Producer 2•2

高解像度 24-bit/192kHz コンバーターと Makie のプレミアムなアナログ回路を搭載し、「戦車級に頑丈な」ハードウェアデザインとバスパワー機能を兼ね揃えた Onyx™ Producer 2•2 は、ホームスタジオやデュアルマイクレコーディングにとって最高のソリューションです。

Onyx マイクプリアンプを装備した 2 つの XLR/TRS コンボ入力端子を搭載し、両チャンネルに有効となるファンタム電源と楽器などダイレクトに接続可能な Hi-Z 入力切替スイッチにより多彩な状況に対応できます。加えて、レイテンシーのないダイレクトモニタリング出力端子により、自分のサウンドを常に確認することができます。またシンセサイザーやコントローラー向けの MIDI 入出力端子も内蔵しています。

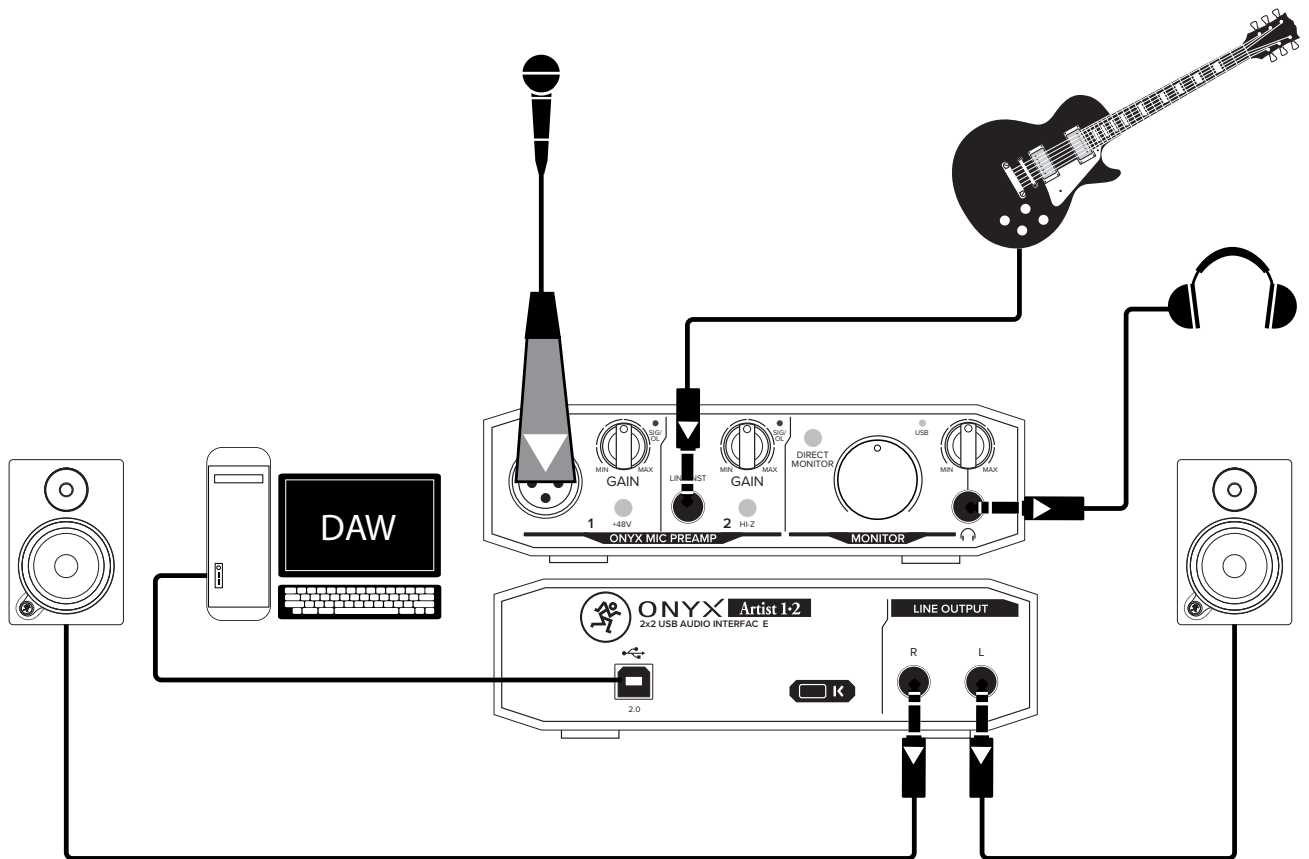
Onyx Producer 2•2 により自宅でも外出先でも、最大限のパフォーマンスを発揮することができます。あなたのクリエイティビティに限界はありません - Onyx USB オーディオインターフェース

クイックスタート

すぐにも Onyx USB インターフェースを箱から取り出し、試してみたいところだとは思いますが、このページだけは読んでください。その他のページは必要になった時で構いません。

1. Windows ユーザー：最新のドライバーをインストールしてください。Mac ユーザー：ドライバーをインストールする必要はありません。
2. 全てのノブを最低まで下げてください。
3. 全てのスイッチをオフにしてください。
4. 下記のように接続をします。：
 - ・ マイクロフォンは XLR3 ピンマイク入力へ接続してください。コンデンサーマイクの場合、マイクケーブルを接続後、ファンタム電源をオンにしてください。
 - ・ キーボード、ドラムマシン、MP3 プレイヤーを 1/4 フォンラインレベルインプットへ接続してください。
5. ケーブルを使用しモニター出力からパワードスピーカー（もしくはパッシブスピーカーに接続されているパワーアンプ）へ接続してください。
6. インターフェースの USB 端子に USB ケーブルをしっかりと差し込み、ケーブルの反対側をコンピューターの USB 端子へ接続してください。
7. コンピューターの電源を入れてください。それに応じてインターフェースの電源が入ることも確認してください。
8. スタジオモニター（もしくはアンプ）の電源を入れてください。
9. ゲインノブを使用して入力レベルを調整します。接続した機器の音量が最も大きな部分で SIG/OL LED が赤色に点灯しない程度にゲインノブをまわしてください。
10. 快適なリスニングレベルになるまで、ゆっくりとボリュームノブを回してください。

Onyx Artist 1•2 接続図

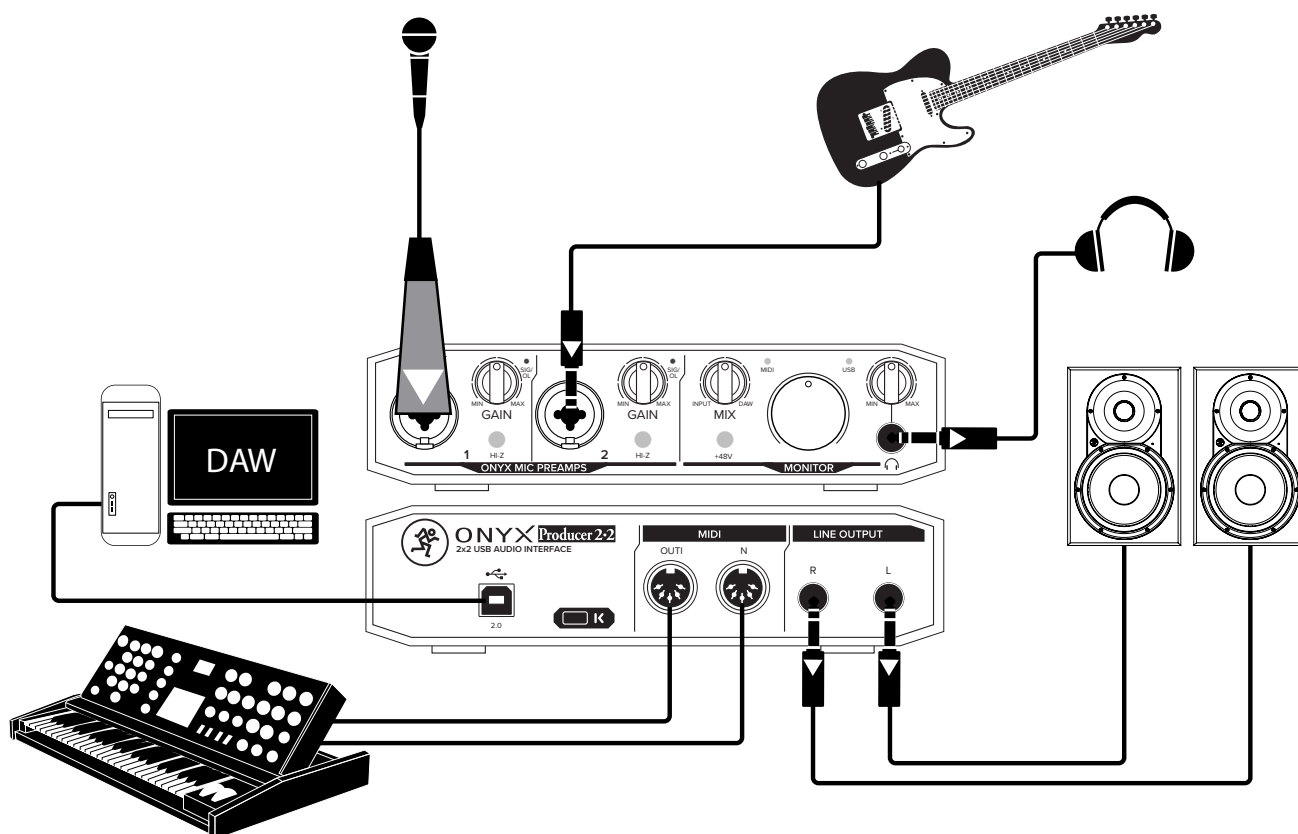


シンガーソングライター向けの上記のような接続状況の場合、Onyx Artist 1•2 が最高のツールとなるでしょう。では入力セクションからみましょう。この例では、マイクを XLR 入力 1 に、ギターを入力 2 (Hi-Z スイッチはオンの状態) に接続しています。

出力セクションも、入力セクションと同様に簡単です。L/R のライン出力端子にはペアの MR スタジオモニターシリーズが接続されており、Phone 出力端子にはヘッドフォンが接続されています。そして、リアパネルの USB ポートとお気に入りの DAW をインストールしたコンピューターを接続しましょう。

説明はここまでです。あとは思うがままに作曲とレコーディングに没頭してください！

Typical Onyx Artist 1•2 Setup

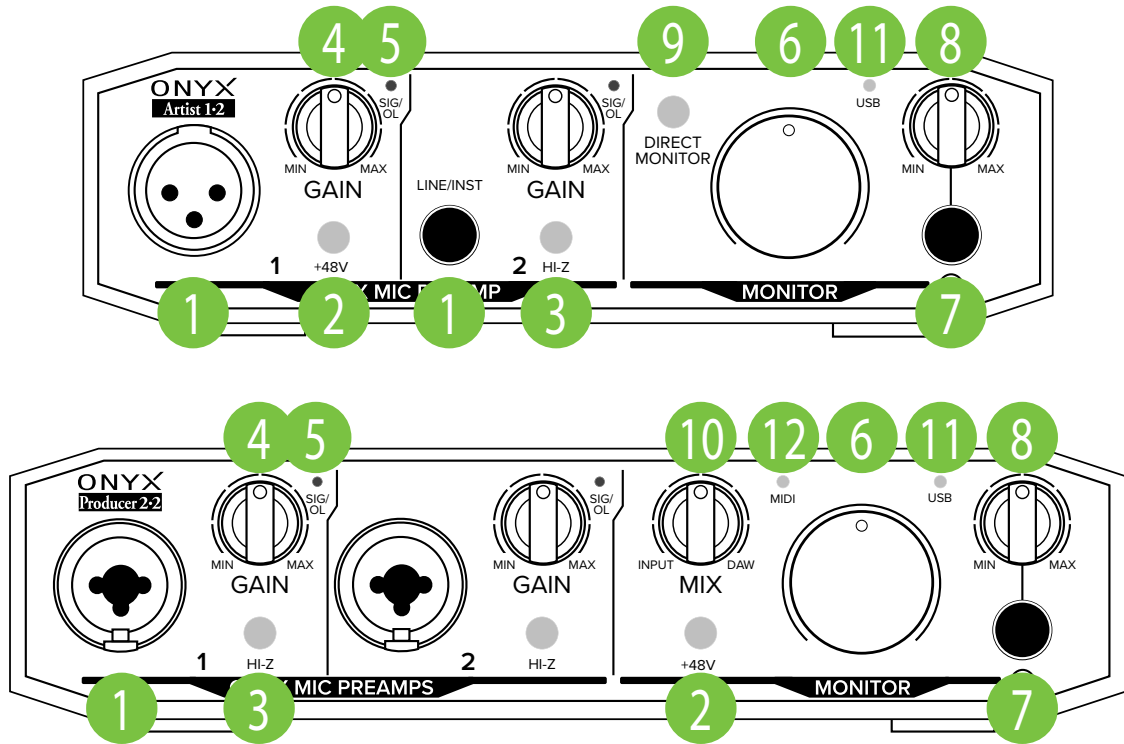


Onyx Producer 2•2 は Onyx Artist 1•2 に似ていますが、いくつかの機能が追加されています。この例はホームスタジオエンジニアやレコーディングエンジニアによる使用を想定しています。では入力セクションからみてみましょう。Onyx Artist 1•2 と同じように、マイクを XLR 入力 1 に、ギターを入力 2 (Hi-Z スイッチはオンの状態) に接続しています。

前ページの接続図と同様、こちらの出力セクションも簡単です。L/R のライン出力端子にはペアの XR スタジオモニターシリーズが接続されており、Phone 出力端子にはヘッドフォンが接続されています。そして、リアパネルの USB ポートとお気に入りの DAW をインストールしたコンピューターを接続しましょう。

また Onyx Artist 1•2 との大きな違いが一つあります。ここでは Onyx Producer 2•2 の MIDI 入出力端子にシンセサイザーが接続されています。

説明はここまでです。あとは思うがままに作曲とレコーディングに没頭してください！



フロントパネルの機能

フロントパネルは様々な機器の入力部を接続する部分です。機器の信号は Onyx USB インターフェースによりルーティングされ、リアパネルの出力端子から出力されます。

1. XLR & 1/4 フォン入力端子

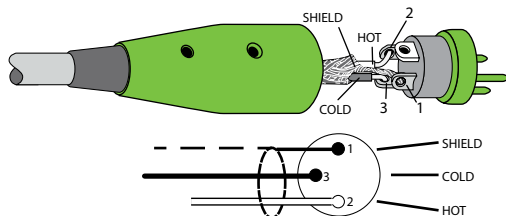
Onyx Artist 1•2 と Onyx Producer 2•2 には、2 種類の入力端子が搭載されています。Onyx Artist 1•2 には 1 つの XLR 端子 (Ch.1) と 1 つの 1/4 インチフォン端子が搭載され、Onyx Producer 2•2 には 2 つの XLR・1/4 フォン両方対応のコンボ入力端子が搭載されています。

XLR 入力端子は XLR 端子からのバランスマイク入力に対応し、1/4 インチフォン端子は 1/4 インチ TRS フォン端子からのバランスおよびアンバランスのラインレベル入力に対応します。マイクプリアンプは、高い信頼性とヘッドルームを搭載する Onyx デザインを採用。現在市場に出回っているスタンドアロンタイプの高級マイクプリアンプに匹敵するクオリティを実現します。(注意：1/4 インチフォン入力はマイク非対応です。マイクは XLR3 ピン入力に接続してください。)

配線は以下の通りです。これは AES(Audio Engineering Society) が定めたものです。

バランス XLR

シールド (グラウンド)	ピン 1
ホット (+)	ピン 2
コールド (-)	ピン 3



TRS フォン端子はマイクプリアンプと同じ回路を共有しており (ファンタム電源は有効にはなりません)、バランスラインレベルソースおよびアンバランスラインレベルソースの両方に対応しています。

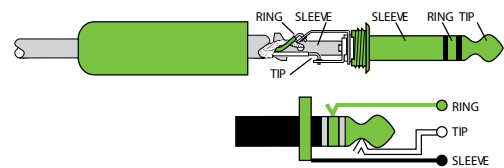
加えて、Onyx Artist 1•2 の Ch.2 と Onyx Producer 2•2 の両方のチャンネルは Hi-Z 接続にも対応しているので、ギターなどのハイインピーダンス楽器を DI ボックス無しで直接接続することができます。

- TRS フォン端子には、アンバランス TS (チップ-スリーブ) ケーブルを接続することができます。プラグの形状が TS タイプ (ギタープラグに似た形状) なのか、TRS タイプ (ヘッドフォンプラグに似た形状) でリングがスリーブに接続されているかを確認してください。また、プラグがジャックに奥までしっかりとさしこまれているかを確認してください。

配線は以下の通りです。これは AES(Audio Engineering Society) が定めたものです。

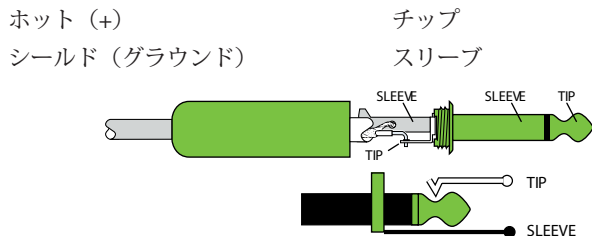
バランス TRS フォン (1/4 インチ)

ホット (+)	チップ
コールド (-)	リング
シールド (グラウンド)	スリーブ



バランス TRS フォン (1/4 インチ)

アンバランスフォン (1/4 インチ)



アンバランスフォン (1/4 インチ)



決してパワーアンプからの出力を Onyx USB インターフェースの入力端子に直接接続しないでください。入力回路の破損の原因となる場合があります。

2. +48V ファンタム電源スイッチ

現在入手できる大抵のプロフェッショナルコンデンサーマイクは、48Vのファンタム電源供給が必要です。オーディオ伝送用のケーブルを介して、マイク内部の電子機器に低電流の DC 電圧を供給します。(セミプロコンデンサーマイクは、内部にバッテリーを搭載しているものもあります。)
「お化け」を意味するファンタムという名前は外部電源が不要でその影響も受けないダイナミックマイク(例えば SHURE SM57 や SM58) からは見えない幽霊のようにひそむ電源であることから、その名がつけられたと言われています。

お使いのマイクにファンタム電源を供給する必要がある場合、このスイッチを押してください。+48V のスイッチが緑色に点灯していれば、ファンタム電源が供給されています。(マイクを接続する前には、毎回欠かさず LED の状態を確認してください。) このスイッチを押すことにより Onyx Artist 1・2 の Ch.1、Onyx Producer 2・2 の両チャンネルにファンタム電源が供給されます。



ファンタム電源が供給されている状態で、絶対にアンバランスマイクやリボンマイクを接続しないでください。安全だという確証がない限り、楽器などの出力をファンタム電源が供給されている XLR 入力端子に接続しないでください。ファンタム電源が供給されている時にマイクを XLR 入力端子に接続する際は、必ず該当チャンネルのゲインが下がりきっていることを事前に確認してください。これにより予期せぬポップ音を防ぐことができます。

3. Hi-Z スイッチ

ダイレクトボックスを使用せず、インターフェースに直接ギターを接続する場合はまずこのボタンを押してください。その後、1/4 インチ TRS 入力端子にギターケーブルを接続してください。Hi-Z スイッチが緑色に点灯していれば、スイッチが有効です。入力インピーダンスは楽器などの Hi-z 接続用に最適化され、高域を忠実に再現します。

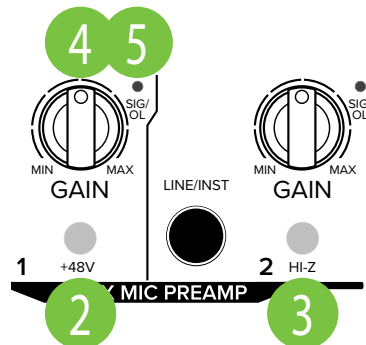
ダイレクトボックスがなく、Hi-Z スイッチが OFF の場合、ギターのサウンドはぼんやりとさえないサウンドになります。Hi-Z スイッチがオフの場合、CD やミュージックプレーヤーなどのローインピーダンスラインレベル入力に対応します。

4. Gain ノブ

まずは P.5 のクイックスタートを読んでみてください。入力ゲインが高すぎると、歪みが発生し、逆に入力ゲインが低すぎると「サー」といったバックグラウンドノイズのみが再生され繊細なサウンドが失われてしまいます。ゲインノブを使用して入力レベルを調整します。接続した機器の音量が最も大きな部分で SIG/OL LED が赤色に点灯しない程度にゲインノブをまわしてください。

Gain ノブはマイクとライン入力の感度を調整します。外部から入力される信号を、各入力で扱う適切な操作レベルに調整することができます。

ゲインはノブを左に回しきると最小、右に回しきると最大です。



5. SIG/OL LED

このデュアルカラー LED は、チャンネルに入力信号がきているとき(少なくとも -20 dBu) に、緑色に点灯します (SIG)。 -20 dBu 以上の信号が入力されている限り LED は点灯し続けます。

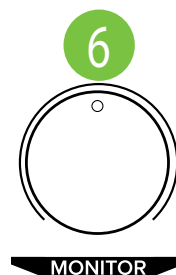
このデュアルカラー LED はチャンネルに入力される信号のレベルが高すぎる場合に赤色に点灯し、信号が OL (オーバーロード) していることをお知らせします。OL LED が点灯してしまうと、音声信号が歪んでしまう可能性があります。OL LED が頻繁に点灯してしまう場合、GAIN ノブが正しい位置に設定されているかどうかを確認してください。

6. Monitor ノブ

このノブを使い、選択した入力ソースの信号を L/R ラインアウトに送るレベルを調整することができます。



WARNING: 接続した機器を変更する際は、必ずモニターノブをオフまで下げるようにしてください。機器が問題なく接続されていることを確認したら、ゆっくりと Monitor ノブを上げてください。これによりスピーカーだけでなく、あなたの大切な耳も保護することができます。

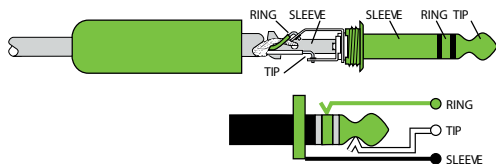


7. 1/4 インチフォン端子

この 1/4 インチ TRS コネクターからはヘッドフォン出力が供給されます。ボリュームはフォン端子上の Phones ノブより調整することができます。この信号はライン出力にルーティングされているものと同様です。

フォン出力の配線は以下の通りです。

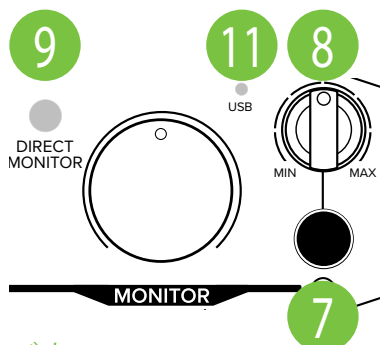
L チャンネル	チップ
R チャンネル	リング
グラウンド	スリーブ



バランス TRS フォン (1/4 インチ)



WARNING: ヘッドフォンアンプはかなりの音量で再生されることがあるため、難聴の原因となる場合があります。ヘッドフォンによっては中程度のレベルでも痛いほどの音量となる可能性があります。ご注意ください！ヘッドフォンを接続する前に、必ずレベルコントロールを最小まで絞るようにしてください。ボリュームの調整は、できる限りゆっくりと行ってください。



8. Phones レベル

このノブはフォン出力端子からのボリュームを、最小から最大ゲインの範囲内で調整します。L/R のライン出力とフォン出力端子は、同じサウンドミックスを出力します。



WARNING: 直前でも説明しましたが、大事なことなのでもう一度説明します。ヘッドフォンアンプは大きな音を出すことができるため、聴覚に影響を及ぼす可能性があります。ヘッドフォンによっては中程度のレベルでも痛いほどの音量となる可能性があります。ご注意ください！ヘッドフォンを接続する前に、必ずレベルコントロールを最小まで絞るようにしてください。ボリュームの調整は、できる限りゆっくりと行ってください。

9. Direct Monitor スイッチ [Onyx Artist 1•2]

入力信号をモニターする場合は、このスイッチを有効にしてください。有効にすると、スイッチが緑色に点灯します。この状態で入力をモニタリングしていることとなります。

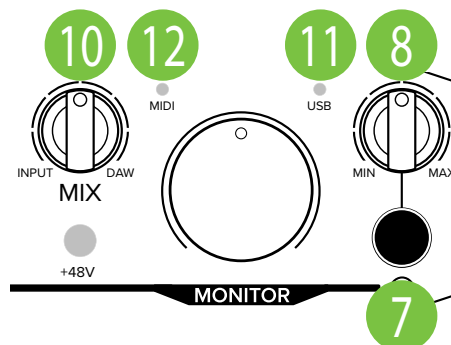
モニタリングはアナログ回路で処理されるため、レイテンシーはありません。

10. Mix ノブ [Onyx Producer 2•2]

このノブで Phones 出力とライン出力にルーティングされる、入力 1、2 および DAW プレイバックのレベルを調整することができます。もちろんレイテンシーはありません。

ノブポジション (左、中央、右):

- 左- 入力 1、2 = ボリューム最大
DAW = ボリュームなし
- 中央- 入力 1、2 および DAW = 均等のボリューム
- 右- 入力 1、2 = ボリュームなし
DAW = ボリューム最大

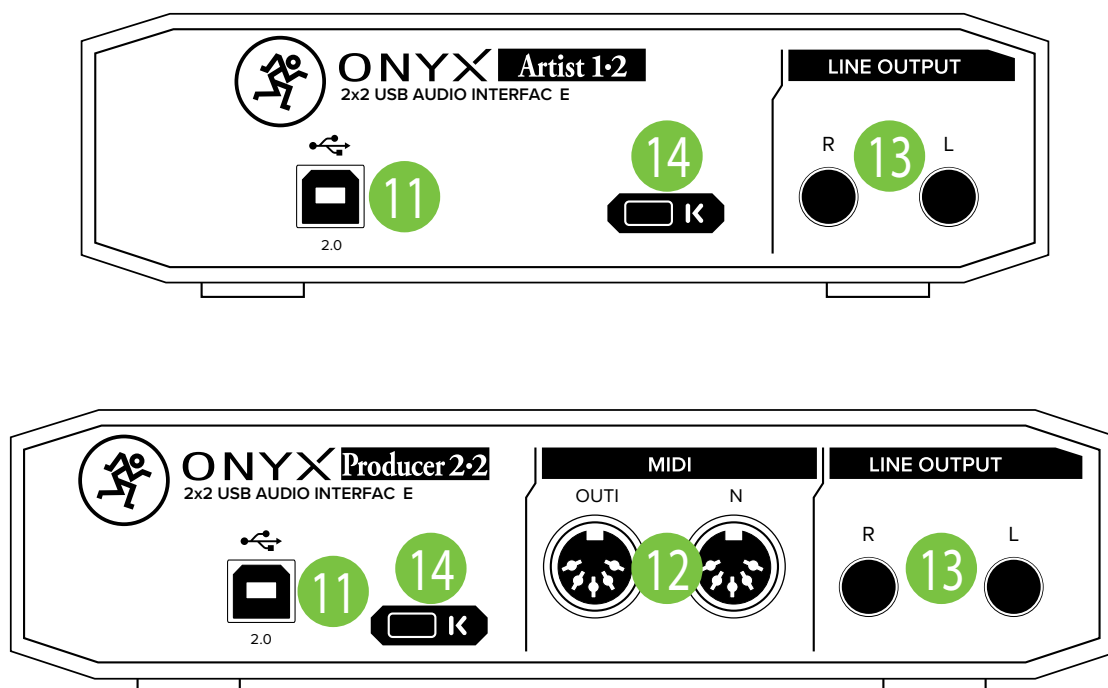


11. USB LED

USB LED はコンピューターの電源が入っており、USB ケーブルを使用して Onyx USB インターフェースと問題なく接続できている際に、緑色に点灯します。全ての機器が問題なく接続されているかどうかを一目で判断することができます。

12. MIDI LED [Onyx Producer 2•2]

Onyx Producer 2•2 の MIDI 入力端子からデータを受け取ると、MIDI LED が緑色に点灯します。



リアパネルの機能

フロントパネルには主に入力端子が搭載されており、リアパネルには主に出力端子が搭載されています。

11. USB 入力 / 出力端子

内蔵する USB インターフェースを介して、コンピューターへデジタルオーディオを送ることができます。この機能を Windows で使用する際には、まず ASIO ドライバーをこちら http://mackie-jp.com/manual/#software_Onyx_Artist_Producer からダウンロードしてください。Mac で使用する場合には特別なドライバーは必要なく、1x2 デバイス [Onyx Artist 1•2] もしくは 2x2 デバイス [Onyx Producer 2•2] として表示されます。

Onyx USB インターフェースの USB ルーティングは、非常にパワフルです。入力信号は常にコンピューターへ直接送られますが、L/R ライン出力やヘッドフォン出力にも直接ルーティングすることができます。

同様にコンピューターからのステレオプレイバックは、ソフトウェア上でミュートを有効にしない限り、モニタリングとオーバーダビングのために常にデバイスに戻ります。Phones 出力と L/R ライン出力のボリュームコントロールは独立しているため、どちらか一方もしくは両方から出力するかをコントロールすることができます。

前のページでも説明しましたが USB LED はコンピューターの電源が入っており、USB ケーブルを使用して Onyx USB インターフェースと問題なく接続できている際に、緑色に点灯します。

12. MIDI 入力 / 出力端子 [Onyx Producer 2•2]

Onyx Producer 2•2 は、標準的な 5 ピンの MIDI 入出力端子を搭載しています。MIDI 対応デバイスの入出力端子とこれらの端子を接続してください。

Onyx Producer 2•2 の MIDI 入力端子からデータを受け取ると、MIDI LED が緑色に点灯します。

DAW アプリケーション上では 2x2 MIDI デバイスとして認識され、Onyx Producer 2•2 はポート 1 として表示されます。

13. 1/4 インチライン出力端子

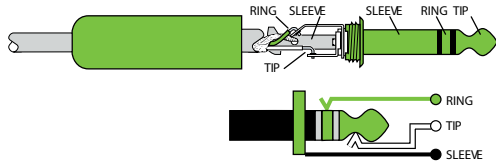
パワードスタジオモニターの入力端子や、パッシブスピーカーを再生するためのパワーアンプの入力端子にこれらの端子を接続します。これらの出力端子からはメインのバランスステレオ信号が出力されます。

- 出力端子は、バランスまたはアンバランスの信号を出力することができます。
- TRS 端子には、アンバランス TS (チップ - スリーブ) ケーブルを接続することができます。プラグの形状が TS タイプ (ギタープラグに似た形状) なのか、TRS タイプ (ヘッドフォンプラグに似た形状) でリングがスリーブに接続されているかを確認してください。また、プラグがジャックに奥までしっかりとさしこまれているかを確認してください。

配線は以下の通りです。これは AES(Audio Engineering Society) が定めたものです。

バランス TRS フォン (1/4 インチ)

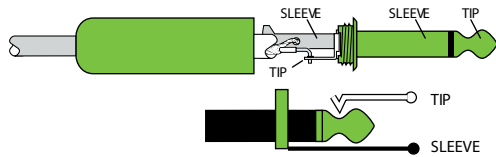
ホット (+)	チップ
コールド (-)	リング
シールド (グラウンド)	スリーブ



バランス TRS フォン (1/4 インチ)

アンバランスフォン (1/4 インチ)

ホット (+)	チップ
シールド (グラウンド)	スリーブ



アンバランスフォン (1/4 インチ)

14.Kensington Lock

盗難防止のため、Onyx USB インターフェースは Kensington Lock に対応できるセキュリティスロットが搭載されています。Kensington Lock はバラエティ豊かなモデルを取り揃えています。
www.kensington.com.

付録 A：サービスについて

Onyx USB インターフェースに問題が発生した場合は、下記の「トラブルシューティング」を参照して問題点をご確認ください。弊社ウェブサイトのサポートセクションをご覧ください。(http://mackie-jp.com/support/) 下記の内容に沿って状況を確認しても問題が解決しない場合、または明らかに製品が故障している場合は、ただちに使用を中止してこの製品をお求めの販売代理店まで修理をご依頼ください。

トラブルシューティング

電源が入らない

- ・インターフェースが問題なくコンピューターと接続されている場合、USB LED が点灯します。コンピューターに電源が入っているかどうかを確認してください。
- ・当機種は USB バスパワーのみで駆動します。5V、500mA 以上の電源が供給可能な USB 端子を装備したパソコンをご用意ください。

音が出ない

- ・フロントパネルの USB LED は点灯していますか？点灯していない場合は、上記の「電源が入らない」をご覧ください。
- ・音源の音量は上がっていますか？選択した入力チャンネルの信号レベルが十分に上がっていることを確認してください。
- ・選択した入力に対応するゲインノブが、正しく設定されているかどうか確認してください。
- ・ライン出力とアクティブスピーカーもしくはパワーアンプを接続しているケーブルに問題がないかを確認してください。

音が良くない

- ・ジャックは入出力端子に最後までしっかり挿し込まれていますか？完全に接続されていることを改めて確認してください。
- ・音量が大きくて歪んでいますか？選択した入力に対応するゲインノブが、正しく設定されているかどうか確認してください。可能であれば、入力ソースの信号レベルを下げてください。
- ・また可能であれば、ヘッドフォンで入力デバイスの音源を確認してください。もしそこで音が悪ければ、インターフェース以外に原因があることが考えられます。
- ・入力ゲインは正しく設定されていますか？
- ・OLED は点灯していますか？
- ・同じ音源ソースを別のチャンネルに接続して試してみてください。
- ・マイクにファンタム電源は必要ですか？

ノイズ/ハム/バズ

- ・ソースと Onyx USB インターフェースの接続に使用されているケーブルを確認してください。全ての接続に問題はありませんか？ケーブルがしっかり接続されていないとノイズの原因になる場合があります。1 つずつ確認を行ってください。ノイズがなくなった際に、どの入力ソースがノイズを発生しているかを特定することができます。
- ・信号ケーブルを電源コードや電源トランスなど（AC アダプターや電源コンセントも含む）電磁干渉を発生するものの近くに設置しないで下さい。これらはしばしばノイズの原因となることがあります。
- ・ヒスノイズが発生している場合、Onyx USB インターフェースへ入力される前の段階でゲイン設定が適切に行われていない可能性があります。
- ・全てのオーディオ機器を同じ AC 電源で共通のグラウンドを利用するようにすると、ノイズが抑えられる場合があります。

ご不明な点は…

- ・ mackie-jp.com にアクセスしてサポートの項目をご覧ください。
- ・ support_mackie@otk.co.jp までメールをお寄せください。
- ・テクニカルサポートセンターにお電話ください。
- ・日本語：04-2944-3811（月～金曜、9am～6pm）
- ・英語：1-800-898-3211（月～金曜、営業時間 PST）

付録 B : 技術情報

Onyx USB Interfaces 仕様書

周波数特性

最小ゲイン, +4 dBu / -6 dBFS 入力

全入力: ± 0.5 dB, 20 Hz – 20 kHz

全出力: ± 0.5 dB, 20 Hz – 20 kHz

ノイズ特性 (RMS, 10 Hz - 22 kHz)

マイク入力: < -100 dBFS

ライン入力: < -100 dBFS

楽器入力: < -100 dBFS

ライン出力, バランス < -85 dBu

ヘッドフォン出力 < -75 dBu

歪率 (THD+N)

最小ゲイン, +4 dBu / -6 dBFS, 1 kHz 入力

マイク入力: < 0.001%

ライン入力: < 0.005%

楽器入力: < 0.005%

ライン出力, バランス < 0.001%

ヘッドフォン出力 < 0.002%

最大レベル (0 dBFS, 1kHz)

マイク入力, 最小ゲイン: +11 dBu

ライン入力, 最小ゲイン: +24 dBu

楽器入力, 最小ゲイン: +24 dBFS

ライン出力, 最大ボリューム: +10 dBu

ヘッドフォン出力, 最大ボリューム: +10 dBu

入力タイプ

入力タイプ: バランス / アンバランス XLR メス
 バランス / アンバランスフォンメス
 MIDI [Onyx Producer 2・2]

出力タイプ

出力タイプ: バランス / アンバランスフォンメス
 MIDI [Onyx Producer 2・2]

USB

フォーマット: USB 2.0, 24 ビット, 192 kHz

必要電源

USB バスパワー ハイパワーデバイス
 (5V, 500mA まで)

寸法・重量

Onyx Artist 1・2

高さ: 51 mm

横幅: 163 mm

奥行き: 114 mm

重量: 0.5 kg

Onyx Producer 2・2

高さ: 51 mm

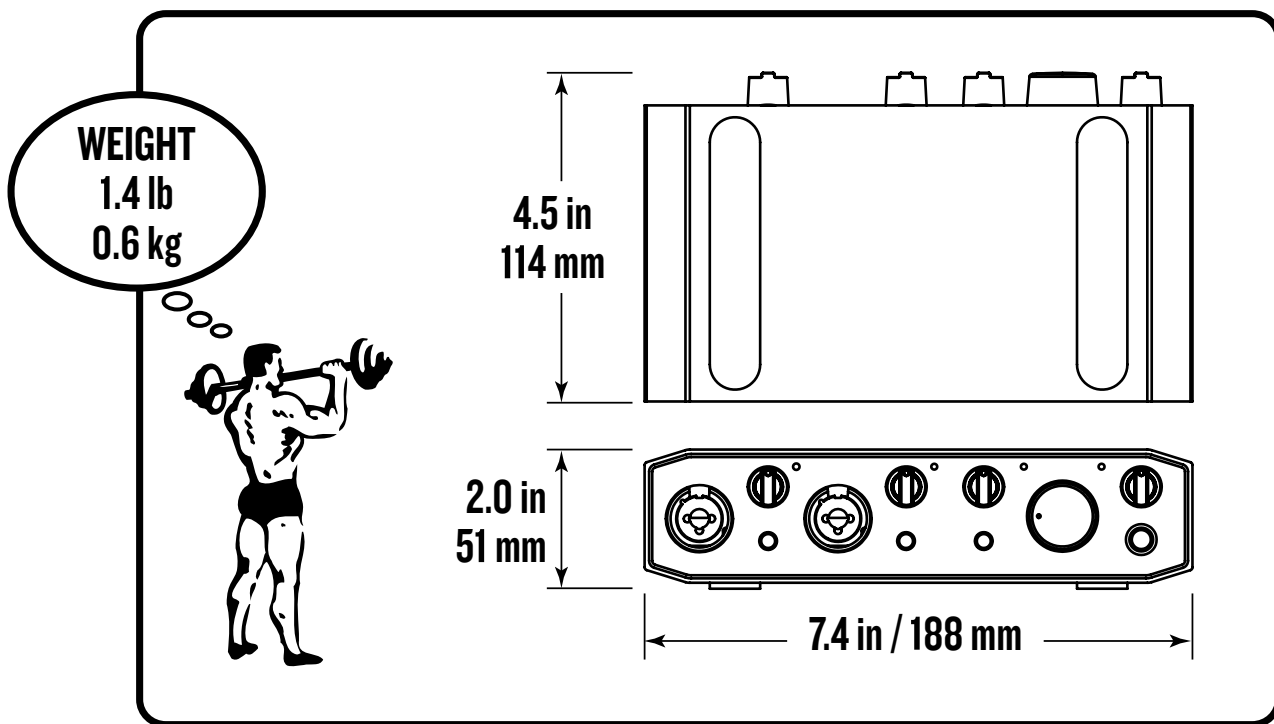
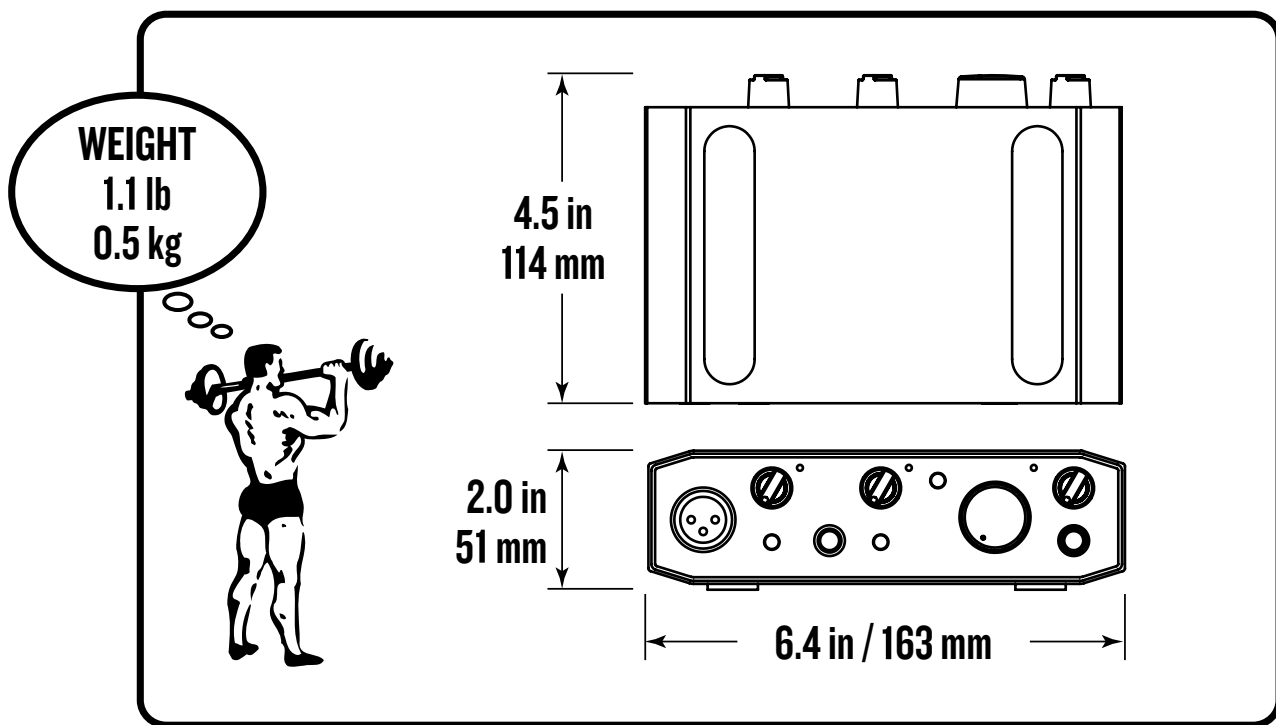
横幅: 188 mm

奥行き: 114 mm

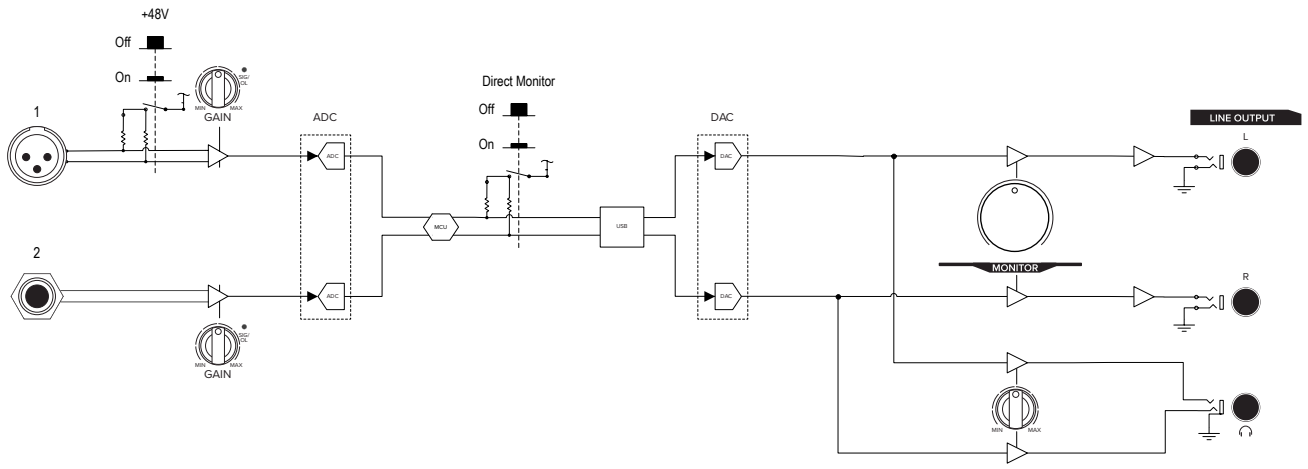
重量: 0.6 kg

LOUD Audio 社は、常に新しい素材、部品、製造方法を取り入れて製品を改善するよう努めているため、製品の外観および仕様は予告なく変更することがあります。

「ランニングマン」、「Running Man」は LOUD Audio 社の登録商標です。他の商品名または会社名は各社の商標または登録商標です。



Onyx Artist 1•2 ブロックダイアグラム



Onyx Producer 2•2 ブロックダイアグラム

